

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 日華化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江守 康昌

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長

(氏名) 宮本 和浩

TEL 0776-24-0213(代表)

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,799	△15.0	268	△1.9	289	9.9	192	43.5
21年3月期第1四半期	8,002	—	273	—	263	—	133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.92	—
21年3月期第1四半期	7.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	30,820	11,498	31.5	551.98
21年3月期	30,728	10,903	30.1	526.10

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,718百万円 21年3月期 9,263百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	0.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	14,000	△16.1	400	△45.4	300	△55.0	150	△57.4	8.52
連結累計期間	29,260	0.6	900	99.5	800	189.0	300	—	17.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	17,710,000株	21年3月期	17,710,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	102,852株	21年3月期	102,852株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	17,607,148株	21年3月期第1四半期	17,608,501株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）の連結業績は、化粧品関連事業では、デミブランドの浸透に努める等積極的な営業活動を展開し好調に推移したものの、工業用薬剤関連事業が低迷し、売上高は67億9千9百万円（前年同期比15.0%減）となりました。利益面におきましては、コストダウンや収益性改善を全社的に進め、営業利益は2億6千8百万円（同1.9%減）、経常利益は2億8千9百万円（同9.9%増）、四半期純利益は1億9千2百万円（同43.5%増）となりました。

工業用薬剤関連事業におきましては、売上高53億1千9百万円（同19.7%減）となりました。

繊維加工用界面活性剤等では、付加価値の高い製品を開発し販売を進めましたが、市況は厳しさが続き、売上高は減少しました。紙パルプ、金属工業用界面活性剤等においても、受注の低迷で売上高は減少しました。

海外では、世界同時不況の影が色濃く残り中国地区が低調に推移しました。東南アジア各地区においても産業界全体の冷え込みが続きました。

化粧品関連事業におきましては、売上高13億3千3百万円（同8.0%増）となりました。

美容市場は相変わらず低迷していますが、業務用総合美容メーカーとしてヘアケア剤やパーマ剤などを積極的に展開し、大型店の開拓や新規得意先の獲得等により売上高を伸ばしました。

その他事業におきましては、売上高1億4千7百万円（同4.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、9千1百万円増加し、308億2千万円となりました。たな卸資産の減少や借入金の返済等による現金及び預金の減少があったものの、受取手形及び売掛金の増加や土地の取得等による有形固定資産の増加等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、5億3百万円減少し、193億2千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、5億9千5百万円増加し、114億9千8百万円となりました。利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、31.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1億8千8百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には26億8千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は8億9千3百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億1千2百万円、減価償却費2億4千9百万円を計上したことに加え、仕入債務の増加に伴う増加2億1千7百万円、たな卸資産の減少に伴う増加2億8千1百万円がありましたが、売掛債権の増加に伴う減少2億6百万円等があったことによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は2億8千6百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は9億1千6百万円の支出となりました。これは主に、借入金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843,659	3,056,154
受取手形及び売掛金	6,917,297	6,572,723
商品及び製品	2,304,743	2,290,691
仕掛品	405,313	467,350
原材料及び貯蔵品	2,028,647	2,158,028
その他	559,714	592,364
貸倒引当金	△76,123	△77,260
流動資産合計	14,983,251	15,060,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,842,469	4,828,109
機械装置及び運搬具(純額)	1,403,877	1,397,747
土地	6,222,294	6,141,754
その他(純額)	668,767	658,637
有形固定資産合計	13,137,407	13,026,249
無形固定資産	468,053	470,914
投資その他の資産	2,231,682	2,171,731
固定資産合計	15,837,144	15,668,896
資産合計	30,820,395	30,728,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,107,902	2,792,642
短期借入金	6,812,737	7,379,340
未払法人税等	159,055	99,509
賞与引当金	187,020	314,000
その他	1,602,552	1,500,846
流動負債合計	11,869,268	12,086,340
固定負債		
長期借入金	4,348,995	4,589,654
退職給付引当金	2,304,203	2,284,473
役員退職慰労引当金	161,340	210,510
負ののれん	25,693	27,486
その他	612,040	627,067
固定負債合計	7,452,273	7,739,192
負債合計	19,321,541	19,825,532

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,167	3,040,167
利益剰余金	5,619,775	5,427,586
自己株式	△42,589	△42,589
株主資本合計	11,515,898	11,323,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,193	27,473
為替換算調整勘定	△1,846,320	△2,088,013
評価・換算差額等合計	△1,797,126	△2,060,539
少数株主持分	1,780,081	1,640,244
純資産合計	11,498,853	10,903,414
負債純資産合計	30,820,395	30,728,947

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	8,002,652	6,799,204
売上原価	5,592,774	4,556,015
売上総利益	2,409,878	2,243,189
販売費及び一般管理費	2,136,438	1,974,815
営業利益	273,439	268,373
営業外収益		
受取利息	9,011	2,570
受取配当金	9,535	5,988
負ののれん償却額	2,293	1,793
持分法による投資利益	19,729	18,031
その他	39,895	77,693
営業外収益合計	80,465	106,076
営業外費用		
支払利息	62,079	49,526
その他	28,173	35,098
営業外費用合計	90,253	84,624
経常利益	263,651	289,825
特別利益		
固定資産売却益	2,759	4,987
投資有価証券売却益	—	15,413
貸倒引当金戻入額	—	4,333
特別利益合計	2,759	24,734
特別損失		
固定資産除却損	1,069	—
固定資産売却損	78	—
投資有価証券評価損	—	1,960
特別損失合計	1,148	1,960
税金等調整前四半期純利益	265,261	312,600
法人税等	77,261	81,146
少数株主利益	54,079	39,265
四半期純利益	133,920	192,188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	265,261	312,600
減価償却費	246,461	249,870
負ののれん償却額	△2,293	△1,793
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,960
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,839	19,526
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,810	△49,170
賞与引当金の増減額(△は減少)	△186,269	△126,980
貸倒引当金の増減額(△は減少)	818	△4,333
受取利息及び受取配当金	△18,547	△8,558
支払利息	62,079	49,526
為替差損益(△は益)	29,890	△6,386
持分法による投資損益(△は益)	△19,729	△18,031
固定資産処分損益(△は益)	△1,610	△4,987
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15,413
売上債権の増減額(△は増加)	△552,250	△206,020
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,206	281,788
仕入債務の増減額(△は減少)	233,743	217,281
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,468	47,400
その他	139,357	182,012
小計	144,824	920,290
利息及び配当金の受取額	11,518	49,188
利息の支払額	△62,659	△50,198
法人税等の支払額	△119,662	△25,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,979	893,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53,212	△14,390
定期預金の払戻による収入	74,553	14,390
有形固定資産の取得による支出	△191,043	△248,151
有形固定資産の売却による収入	2,896	10,433
投資有価証券の取得による支出	△3,001	△13,037
投資有価証券の売却による収入	—	20,941
その他	△33,524	△56,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,332	△286,792

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,972,106	10,707,111
短期借入金の返済による支出	△12,166,415	△11,295,444
長期借入れによる収入	—	35,200
長期借入金の返済による支出	△246,675	△305,421
自己株式の売却による収入	174	—
自己株式の取得による支出	△446	—
配当金の支払額	△88,197	△12
少数株主への配当金の支払額	△52,589	△57,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△582,043	△916,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△247,793	120,560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,059,149	△188,964
現金及び現金同等物の期首残高	3,132,137	2,870,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,072,987	2,681,173

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,627,611	1,234,844	140,197	8,002,652	—	8,002,652
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	5,534	—	5,072	10,607	(10,607)	—
計	6,633,145	1,234,844	145,270	8,013,259	(10,607)	8,002,652
営業利益又は営業損失(△)	518,462	130,479	△25,593	623,348	(349,909)	273,439

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,319,049	1,333,073	147,082	6,799,204	—	6,799,204
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,642	—	5,066	7,709	(7,709)	—
計	5,321,691	1,333,073	152,148	6,806,913	(7,709)	6,799,204
営業利益又は営業損失(△)	307,446	232,906	△11,813	528,539	(260,165)	268,373

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,219,887	2,469,945	312,819	8,002,652	—	8,002,652
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	945,034	105,712	39,360	1,090,106	(1,090,106)	—
計	6,164,922	2,575,657	352,180	9,092,759	(1,090,106)	8,002,652
営業利益又は営業損失(△)	391,379	275,552	△2,595	664,336	(390,896)	273,439

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,609,795	1,965,677	223,732	6,799,204	—	6,799,204
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	678,700	75,518	36,536	790,755	(790,755)	—
計	5,288,495	2,041,195	260,268	7,589,959	(790,755)	6,799,204
営業利益又は営業損失(△)	374,055	173,183	△14,525	532,712	(264,338)	268,373

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,665,405	326,009	228,581	3,219,996
II 連結売上高(千円)	—	—	—	8,002,652
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.3	4.1	2.8	40.2

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,090,667	231,232	155,578	2,477,478
II 連結売上高(千円)	—	—	—	6,799,204
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	30.7	3.4	2.3	36.4

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。